

MND-SE



バグダッド 日誌 (10月29日)

- 本日のSNR(派遣国代表者)会議に業支隊長が参加された。本稿では、この間の裏話を紹介する。
- ・ COL Saito is good English speaker.
多くの将軍、大佐が、「隊長の英語は素晴らしい」とほめていた。隊長の英語は本当に素晴らしいのだが、普段聞いている私の英語と比較して言ってたのカナ？
 - ・ MNC-I司令官から気合いを入れられる！？
昨日の懇親会で、[REDACTED]に挨拶したときのこと。
隊長:私の部下のLOが、お世話になっています。
中将:こいつは、空挺レンジャーだな？ (ドン！と拳で國井の胸を叩く)
[REDACTED] イエス・サー
中将:よく見かけるよ。頑張ってるな、オイ！ (再び ドン！)
[REDACTED] サンキュー・サー
隊長:私はいずれ帰国しますが、こいつらは、あと1年くらいここに置いておいてもいいですか？
中将:いいじゃないが！ (再度 ドン！×2)
[REDACTED] ノー・サー
 - ・ MNC-I司令官に空き缶を投げつけられる？
[REDACTED]がこちらに近づいてくる。緊張の面もちで握手の準備をしていると、私の少し手前で立ち止まり、傍らの大佐と話し始めた。そして次の瞬間手にしていたペプシの空き缶を私の方にクイック・スロー！
素早い動きだったので動けずにいたところ、空き缶は、見事私の隣のゴミ箱に…、なんだそれだけかよ～
けど思わず「ストライク！」
 - ・ 隊長怒る！！
隊長の宿泊はヴィクトリーで最も豪華な高官外来(JVB)を予約しました。といいつつ係の軍曹に案内された先は、タコ部屋のようなコンテナだった！…しかもイラクの兵隊と同室。「ここに泊まるのか？」と隊長、「そのようです…」と私。
係の軍曹は「本日、大佐は全員この部屋です。」
隊長の顔色が変わる「音」が聞こえた[REDACTED]は、防大空手道部1年にタイムスリップしました。